



～寺地ゼミ～ 渋沢栄一杯優勝

寺地ゼミ(研究演習Ⅰ)は、10月12日(日)に慶應義塾大学で開催された「第12回渋沢栄一杯経済史・経営史ディベートリーグ」本戦で2年ぶりの総合優勝を果たしました。本年度の統一テーマは「田中角栄の『日本列島改造論』は日本経済にとってプラスであった(肯定/否定)」であり、本戦参加の大学によって論戦が交わされました。同リーグは、「日本の財界の父」と呼ばれる渋沢栄一にちなんだ渋沢栄一記念財団の助成を受けており、本戦の前に北海道、関東、中部、関西でオープン戦が開催され、2年生を対象としたフレッシュリーグも設けられています。寺地ゼミはこれまでに7回参加して4回目の優勝となり、勝率で慶應義塾大学を上回りリーグトップに立ちました。なお同リーグについては、本戦に先立つ9月11日(金)に開催された「経営史学会第



(閉会式の会場にて)

50回大会」のパネルディスカッションでもその内容が紹介され、寺地ゼミからも昨年度同リーグに出場した4年生2名がパネリストとして参加しました。

～川端ゼミ～ ビーフン・マーケティングの研究で3位入賞

10月25日神戸ハーバーランドで神戸新聞主催の「課題解決ラボ」の発表会が開催され、川端ゼミ3年生の発表が3位となりました。これは、地元中小企業のマーケティング上の課題を大学のゼミが解決するという企画です。県内の10企業と13大学18ゼミが参加し、5月から約半年をかけて企業との共同研究が行われました。川端ゼミは、神戸市に本社を置く「焼きビーフン」で有名なケンミン食品とコラボを組み、ビーフンを知らない若年層に浸透させることで市場を育成する方法について研究をしました。

詳細は、<http://m-kobe.com/challenge/>もご覧下さい。(発表会の動画あり)



(この発表会の結果は2014年11月20日付けの神戸新聞で大きく報じられました)

私が薦めるこの一冊

阪 智香教授

『地球温暖化を考える』

宇沢弘文(岩波書店、1995年)

ISBN: 9784478028681

大量消費型文明の限界やそれがもたらす新たな南北問題、自動車社会のゆがみ、都市のあり方などから、われわれが発展と信じてきたことが本当に豊かさをもたらしたのか、その真の意味を問い直し、資本主義に代わる新たな考え方を提唱している。温暖化問題の解説に終始することなく、環境問題を通して垣間見える現代社会の矛盾を鋭くついた一冊。「冷徹な頭脳」より「暖かい心」で経済社会を見つめ、行動し、今年9月に亡くなられた日本を代表する学者による本著は、約20年を経た今もなお新しい。

嶋村 誠教授

『日本語と外国語』

鈴木孝夫(岩波書店、1990年)

ISBN: 9784004301011

真の国際理解を進めるためには、ことばができるだけでなく異文化理解も必須の要件です。かつて、日本の大手食品会社が、あるアラブの国に品質・価格ともに自信をもって缶詰を輸出したのに、サッパリ売れませんでした。現地目隠しテストをすると競合他社の製品よりも自社の方が評判がよいのに、なぜ売れないのか。土地の人に聞いてみると、太陽の印がついているからでした。でもそれはなぜなのか?こんな具体的な話が満載の本書を手がかりにして、日本語と外国語や異文化への理解を深めていきましょう。



商学部生参加の「KG あならいず」が 『2014年Let's データ分析 カテゴリーC』 最優秀賞を受賞

学部生有志からなる「KG あならいず」

(大野嵩護 (商学部 3 年生)、
笹谷知輝 (経済学部 3 年生)、
山口健太郎 (法学部 3 年生)、
吉田綾乃 (経済学部 3 年生)、



指導教員：池田瑞穂 (共通教育センター准教授)) は、昨年の秋から統計解析ソフト「SAS」を用いたデータ分析を進め、今年 7 月に開催された SAS ユーザー会主催の「Let's データ分析コンテスト」において、最優秀賞を受賞しました。論文『年代別魚食傾向に関する考察』をカテゴリーC (「SAS」使用歴 2 年未満) へ応募し、論文審査の予選を唯一の学部生グループとして通過、六本木ヒルズにて行われた公開審査会でのプレゼンテーションで最優秀賞を受賞し、その後、SAS ユーザー総会 2014 (於、東京大学) にて発表を行いました。

また、11 月には (独) 統計センターが主催する「公的統計のマイクロデータ等を用いた研究の新展開」において、匿名データを対象とした論文の発表も行いました。現在は、SAS ユーザー総会 2015 への論文提出に向けて研究を進めています。

「第 2 回マイクロデータ分析コンテスト」最優秀賞カテゴリーC
『年代別魚食傾向に関する考察』

— 教育用擬似マイクロデータを用いて —

詳細は、<http://www.sascom.jp/lets/> もご覧下さい。

教員新刊案内

則定 隆男教授著

『フレームを変えると、世界が変わる』

関西学院大学出版会

2014 年 12 月発行

1,400 円 + 税



商学部のクリスマス

商学部では、12 月 1 日から 12 月 25 日のクリスマスまでの期間、本館 1F 宗教主事室前にツリーを飾り、朝と昼休みの音楽をアドベント用に変更しています。クリスマスの雰囲気をお楽しみ下さい。

～商学部で流れているアドベント期の音楽～

(8:40~9:00, 12:50~13:30)

♪もろびとこぞりて

♪もみの木

♪牧人ひつじを～神のみこはこよいしも～

♪久しく待ちにし

♪荒野のはてに

♪きよしこの夜



★『ビジアド』の発行形態が次号より変わります★



ビジアド 1 号

今から 10 年前、商学部で行っている行事や企画、そして商学部自体のことを学生の皆さんにもっと知ってもらいたいという思いの中で、皆さんと商学部教職員との間のコミュニケーション・ペーパーとして『ビジアド』は誕生しました。この名称は、「商学部」の英語名称の一部「ビジネス・アドミネストレーション」を、より親しみをもって呼んでもらうために簡略化したものです。早いもので、『ビジアド』は今年 10 年目をむかえ、毎年度各 4 回 (春学期 2 回、秋学期 2 回)、ちょうど 40 号となりました。

一方で、学生の皆さんが日々の生活でパソコンやスマー

トフォンなどの情報端末を活用するように、この 10 年間で私たちの情報環境は大きく変化しました。また商学部だけでなく、関西学院大学でも様々な媒体を利用することで、学生の皆さんに多様な「情報」を届けています。こうした情報環境の変化や各種行事・企画など「情報」の速報性・利便性を考え、商学部では、現在の紙媒体による『ビジアド』の発行形態のリニューアルを検討しています。

来年 4 月から、『ビジアド』は新たな発行形態で皆さんにお届けします。商学部から発信される様々な「情報」を集約し、また皆さんの大学生活における活動成果や商学部教職員の教育・研究成果を幅広く、そしてタイムリーな方法でお届けします。ご期待下さい。

